



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月11日

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ

上場取引所 東

コード番号 3924 URL <https://www.rand.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福島 嘉章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 奥野 文俊

TEL 03-5232-3046

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 当社ホームページにて決算説明の動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,140	1.4	185	20.1	203	16.4	135	15.9
2020年3月期第2四半期	4,197	13.2	232	19.5	243	26.0	161	29.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.69	
2020年3月期第2四半期	26.99	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	5,369	3,710	69.1	619.71
2020年3月期	5,498	3,626	66.0	605.74

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,710百万円 2020年3月期 3,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		15.00	25.00
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,614	5.3	624	12.0	634	12.4	407	14.1	68.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	5,987,100 株	2020年3月期	5,987,100 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	213 株	2020年3月期	213 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	5,986,887 株	2020年3月期2Q	5,985,687 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、機関投資家及びアナリスト向け説明会について会場での開催を中止することにいたしました。2020年11月18日(水)に決算説明資料及び決算説明動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益が急速に減少するなど極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気の持ち直しの傾向がみられますが、国内外の感染状況からは依然収束の目途は立たず、先行きが不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界においては、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応や、新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけとしたテレワーク環境の整備など、ITに対する底堅いニーズがあるものの、対面営業や顧客先対応業務が制限されたほか、業績悪化による情報システム投資を縮小・延期する企業が発生するなど、受注環境は厳しい状況が続いております。

このような環境のもと当社では、パートナー企業を含む社員及びお客様の健康と安全を確保しつつ生産性を維持するため、テレワークや時差通勤、リモートによる商談、オンライン会議等を積極的に推進し、事業活動の維持・継続に注力してまいりました。また、引き続き既存顧客とのパートナーシップの強化による領域の拡大及び顧客満足度の向上に努め、さらにDX推進本部を中心とする新デジタル分野（クラウド、IoT、AI）への取り組みに注力し、開発要員の採用強化及びパートナー企業との更なる連携強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は計画を上回りましたが、前年同期に比べ法改正等に伴う開発案件の反動減等により4,140,893千円（前年同四半期比98.6%）と減収となりました。損益面につきましては、コロナ禍の活動自粛に伴う会議・交際費、旅費交通費などの不要不急の費用削減効果がある一方、将来の新デジタル分野への投資としての教育研修費及び人件費が増加しました。また、第2四半期に発生した大型不採算プロジェクトにおいて、下期に発生が見込まれるコストを原価として損失引当金に計上した結果、営業利益は185,879千円（前年同四半期比79.9%）、経常利益203,649千円（前年同四半期比83.6%）、四半期純利益は135,857千円（前年同四半期比84.1%）となりました。

なお、第2四半期に発生した大型不採算プロジェクトにつきましては、今後損失が拡大しないようその対応に要員を投入し解決策について顧客と継続的な協議を行い、収束に向けて対応しております。

当社事業のサービスライン別の業績を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	前年同期比（%）
システムインテグレーション・サービス	2,695,920	94.1
インフラソリューション・サービス	572,300	84.7
パッケージベースSI・サービス	872,671	133.0
合計	4,140,893	98.6

(システムインテグレーション・サービス)

ネットバンク及び地方銀行等の金融機関向け次世代勘定系システム開発案件の売上増加、クレジットカード分野での既存案件の売上が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による医療分野の受注が大幅に減少、保険分野の開発案件の規模縮小、公共分野の新規受注案件の減少及び前年同期に比べ流通分野の法改正等に伴う開発案件の反動減により売上が減少した結果、売上高は2,695,920千円（前年同四半期比94.1%）となりました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高（千円）	前年同期比（%）
金融	1,385,803	101.0
（うち銀行）	857,112	100.1
（うち保険・証券）	122,401	75.3
（うちクレジットカード）	406,290	115.1
産業・流通	978,365	92.5
公共	117,589	93.9
医療	214,161	68.7
合計	2,695,920	94.1

（インフラソリューション・サービス）

新型コロナウイルス感染症拡大による対面営業及び顧客先対応業務の制限等により基盤構築案件の売上が大きく減少した結果、売上高は572,300千円（前年同四半期比84.7%）となりました。

（パッケージベースS I・サービス）

会計パッケージ及び人事給与パッケージの導入支援・保守案件の売上が減少しましたが、当社におけるDX推進の中心であるクラウド分野のSalesforceビジネス関連において、引き続き大型開発案件の売上が大幅に増加したこと等により、売上高は872,671千円（前年同四半期比133.0%）と大幅な増収となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は5,369,699千円となり、前事業年度末と比較して128,446千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が147,324千円増加、システム開発の進捗により仕掛品が175,813千円増加、投資有価証券が55,703千円増加した一方、売上債権が488,469千円減少、繰延税金資産が8,901千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,659,570千円となり、前事業年度末と比較して212,074千円の減少となりました。これは主に、前受金が17,023千円増加、受注損失引当金が73,900千円増加、退職給付引当金が14,513千円増加した一方、買掛金が83,652千円減少、未払金が16,816千円減少、納税により未払法人税等及び未払消費税等が133,665千円減少、賞与及び役員賞与の支給等により賞与引当金及び役員賞与引当金が68,670千円減少、株主優待引当金が12,936千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,710,128千円となり、前事業年度末と比較して83,627千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が46,053千円増加、その他有価証券評価差額金が37,573千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ144,620千円増加し、2,300,072千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は244,465千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上額203,649千円、売上債権の減少額488,469千円、受注損失引当金の増加額73,900千円、前受金の増加額17,023千円、退職給付引当金の増加額14,513千円等の資金増加と、たな卸資産の増加額175,813千円、仕入債務の減少額83,652千円、未払消費税等の減少額68,618千円、法人税等の支払額140,623千円、賞与、役員賞与の支給等により賞与引当金及び役員賞与引当金の減少額68,670千円、その他流動負債の減少額18,142千円等の資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10,042千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,774千円、定期預金の預入による支出2,704千円、投資有価証券の取得による支出1,562千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は89,803千円となりました。これは配当金の支払額89,803千円の資金の減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月12日に「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,167,705	2,315,030
売掛金	2,339,885	1,851,415
有価証券	300,000	300,000
仕掛品	83,644	259,457
前払費用	72,502	79,687
その他	5,678	1,684
流動資産合計	4,969,416	4,807,276
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	51,896	47,741
工具、器具及び備品(純額)	33,578	30,415
有形固定資産合計	85,475	78,157
無形固定資産		
ソフトウェア	4,689	3,591
商標権	4,737	4,362
無形固定資産合計	9,426	7,953
投資その他の資産		
投資有価証券	114,681	170,384
差入保証金	66,744	62,626
ゴルフ会員権	3,600	3,600
繰延税金資産	250,202	241,301
貸倒引当金	△1,400	△1,600
投資その他の資産合計	433,827	476,312
固定資産合計	528,729	562,423
資産合計	5,498,145	5,369,699

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	465,323	381,671
未払金	45,429	28,613
未払費用	95,104	89,994
未払法人税等	166,478	99,432
未払消費税等	126,263	57,644
前受金	43,051	60,075
預り金	42,712	48,052
賞与引当金	360,816	319,646
役員賞与引当金	37,200	9,700
株主優待引当金	16,365	3,429
受注損失引当金	6,100	80,000
流動負債合計	1,404,846	1,178,258
固定負債		
長期未払金	100,000	100,000
退職給付引当金	366,798	381,311
固定負債合計	466,798	481,311
負債合計	1,871,644	1,659,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	458,499	458,499
資本剰余金	314,769	314,769
利益剰余金	2,799,090	2,845,144
自己株式	△195	△195
株主資本合計	3,572,164	3,618,218
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,336	91,910
評価・換算差額等合計	54,336	91,910
純資産合計	3,626,500	3,710,128
負債純資産合計	5,498,145	5,369,699

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,197,824	4,140,893
売上原価	3,485,965	3,504,222
売上総利益	711,858	636,670
販売費及び一般管理費	479,278	450,791
営業利益	232,580	185,879
営業外収益		
受取利息	65	87
受取配当金	914	1,175
業務受託料	3,500	7,243
助成金収入	6,194	9,009
その他	891	738
営業外収益合計	11,566	18,254
営業外費用		
支払利息	275	284
貸倒引当金繰入額	—	200
固定資産除却損	229	—
営業外費用合計	504	484
経常利益	243,641	203,649
税引前四半期純利益	243,641	203,649
法人税、住民税及び事業税	90,970	75,458
法人税等調整額	△8,867	△7,666
法人税等合計	82,103	67,792
四半期純利益	161,538	135,857

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	243,641	203,649
減価償却費	22,220	18,359
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,000	200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,874	△41,170
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,600	△27,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,261	14,513
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	55,100	73,900
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△10,087	△12,936
受取利息及び受取配当金	△980	△1,262
業務受託料	△3,500	△7,243
助成金収入	△6,194	△9,009
支払利息	275	284
有形固定資産除却損	229	—
売上債権の増減額 (△は増加)	77,103	488,469
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△144,685	△175,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,319	△83,652
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,608	△68,618
前受金の増減額 (△は減少)	△4,037	17,023
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,972	△3,191
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△49,048	△18,142
小計	107,038	367,858
利息及び配当金の受取額	980	1,262
業務受託料の受取額	3,500	7,243
助成金の受取額	6,194	9,009
利息の支払額	△275	△284
法人税等の支払額	△140,265	△140,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,827	244,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,704	△2,704
投資有価証券の取得による支出	△1,465	△1,562
有形固定資産の取得による支出	△7,225	△5,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,395	△10,042
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,389	—
配当金の支払額	△65,832	△89,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,442	△89,803
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△97,666	144,620
現金及び現金同等物の期首残高	2,048,982	2,155,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,951,316	2,300,072

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社の事業は、システムソリューションサービス及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。